

先端的プロジェクト型研究・研究計画3

課 題 名	保育所における育児支援の方法論に関する研究 ーニーズに合わせた支援とニーズを作り出す支援ー	
研究代表者名	氏 名 本 郷 一 夫 （人間発達臨床科学講座）	
研究組織 (研究分担者等)	氏 名	所属（大学名や講座名）
	本郷 一夫	人間発達臨床科学講座
	大和田尚子	仙台医療福祉専門学校
	大山 道子	仙台すくすくサポート事業事務局
	西村 礼子	仙台市立吉成保育所
研究計画		
研究目的と方法	現在、1994年のエンゼルプラン、1999年の新エンゼルプランなどの発表を受け、各自治体ごとに保健所や児童館、地域の育児支援センターなどといった様々な機関において育児支援が行われている。核家族化や少子化の傾向、及び、男女共同参画を推進していく上でも今後このような子育て支援事業の重要性が一層高まることが考えられよう。しかしながら、現在の子育て支援事業に関しては「子育て支援が子どもの福祉に反する可能性」などの幾つかの問題点も指摘されており、親のニーズだけではなく子ども（及びその発達）のニーズも満たすような育児支援の方法を確立する必要があると考えられる。そこで、本研究では、従来の保育事業だけではなく、地域社会における育児支援の役割を担う場へと変化しつつある保育所における育児支援について、発達の観点からその実態や問題点について明らかにする。更にそれによって、発達の観点を重視した育児支援の新たな方法について検討する。	
研究計画概要 (スケジュール)	1. 現在保育所で行われている育児支援の実態を把握するとともに、育児支援の評価やその方法についての調査を行う。 2. 保育所における育児支援への親のニーズについて調査する。 3. 上記の調査結果をもとに、親や子どもの発達を見据えた育児支援の具体的方法を探っていく。	